

## 区立小学校校庭でラインマーカーとして使用されたとと思われる釘により 児童が負傷した事故について

令和5年4月13日、区内小学校において、校庭にラインマーカーとして打ち込んだと思われる釘によって児童が十数針を縫うけがを負う事故が発生した。

については、本事故の経緯と、学校及び教育委員会の対応を下記のとおり報告する。

### 記

#### 1 発生

令和5年4月13日（木）、体育の授業中に校庭で「鬼遊び」をしていた児童が、北側校舎前で転倒し、左膝に裂傷を負った。その後、当該児童は救急車で病院に搬送され、十数針の縫合措置を受けた。

#### 2 原因

運動会の整列や表現活動の隊形移動等の目印（ラインマーカー）としてこれまで校庭に打ち込んだ釘を、使用後に除去することなく残留したままにしていた状況があった。今回、何らかの原因で釘が地面の表層に出てきた箇所に、当該児童が転倒して左膝をすべるように地面に接したことで事故が発生した。

#### 3 学校の対応

- ・事故当日から教職員による点検を繰り返し行うとともに、4月22日（土）及び30日（日）に事業者によって、金属探知機を用いた点検・除去作業を行った。
- ・これらの作業により、5月12日（金）までに合計544本の釘及び鉤型マーカーを発見し、除去した。
- ・4月22日（土）に臨時保護者会を集合及びオンラインで開催し、事故の経緯及び今後の対応について説明して質疑応答を行った。

#### 4 教育委員会の対応

- ・4月19日（水）に全区立学校・子供園に、校庭を中心とした緊急安全点検の実施及び発見した釘等の除去を依頼した。
- ・5月10日（水）に全区立学校に「令和5年度杉並区立学校における『体育的行事』での安全管理の徹底について」を通知した。
- ・5月12日（金）に全区立学校・子供園に運動会・体育大会等の学校行事に向けて再点検するよう通知した。併せて事故の経緯について保護者宛てにメールを配信するとともに、区ホームページで各学校・子供園の緊急安全点検の結果を公表した。
- ・今後は、区立学校等において専門事業者による金属探知機を用いた安全点検を再度実施する。